

2022年度

「現地現物で学ぶ改善力強化セミナー」

～儲けるIEを学び自ら実践～



改善着眼点
の習得

と き 2022年7月26日(火)・27日(水)

と ころ **1日目**
7/26(火) 富山県農協会館 8階 801会議室

現場研修先 **2日目**
7/27(水) 豊田合成(株) 本社・春日工場 【主な製品】ブレーキホース

講 師 元、トヨタ紡織(株) 生産調査部 部長 亥子 淳弘 氏

◆講師プロフィール

1980年 京都工芸繊維大学 卒業。同年、豊田紡織（現トヨタ紡織）に入社。刈谷工場製造部で11年間モノづくりの実践・現場管理を学ぶ。その後、トヨタ自動車生産調査部に2年間出向しTPS（トヨタ生産方式）のノウハウを現地現物での指導を受け、豊田紡織生産管理部に帰任。以降、全社及び国内外関係会社でTPSの実践・展開を19年間担当。その間、トヨタグループ自主研究会の活動に参画。グループのリーダー会社の正メンバー（グループ改善活動責任者）を長期にわたり担当し、トヨタ関連メーカーにてTPSを指導。2013年トヨタ紡織マレーシアに取締役として赴任。マレーシアの新工場建設にあたり、TPSを基盤とした工場レイアウト造りを推進。

★ご参加のお願い

現在、製造業においても、DX、IoT等のデジタル化が注目を集めています。確かにIoTの推進によって、設備の異常を前もって発見できる等の利点がありますが、これらのデジタル化の導入も、現場のムダを徹底的に排除した生産現場に導入することで効果が上がります。そのためには、**現場でムダを発見する能力を養い、効果的な改善を実施**することが重要となります。

そこで、当セミナーでは、改善を進める上での様々な手法、切り口の中から、ジャスト・イン・タイム（JIT）・自動化の概念を二本柱として、リードタイム短縮を意識した停滞のないモノづくりを目指す「**トヨタ生産方式**」の考え方を学ぶとともに、**改善が進む先進現場の見学**を通して、**改善のために必要な考え方、取り組み方、現場の見方等のスキル獲得**を目指します。是非、ご参加をお待ちしております。

★内容

1日目 7月26日(火) : 富山県農協会館 8階 801会議室

元.トヨタ紡織㈱ 生産調査部 部長 亥子 淳弘 氏

講 義 10:00~17:00

I. 「モノづくりの基本」

1. 生産管理とは
2. IEとは
3. 仕事とは
4. あるべき姿のモノづくり

II. 「トヨタ生産方式(TPS)の基本的な考え方」

1. トヨタ生産方式を支える経営的モノの見方・考え方
2. トヨタ生産方式の源流
3. トヨタ生産方式 ・ジャスト・イン・タイム ・自動化
4. 改善を進めていく上での基本姿勢
5. トヨタ生産方式を支える精神

6. トヨタ生産方式のまとめ

III. 改善を継続させるために

1. 管理者の役割
 2. 常に問題意識を持つ
 3. 現地現物・巧遅拙速・効果確認の定量化
 4. 人材育成と改善の動機付け
 5. 競争意欲を生み出す改善活動の仕組み造り
 6. 改善効果が得やすい、生まれの良いレイアウト
 7. 改善を進めていく上での基本姿勢(復習)
 8. 最後に
- ≪質疑応答≫

2日目 7月27日(水) : 豊田合成㈱ 本社・春日工場

08:20 JR「富山駅」集合 08:30 貸切バスにて移動

12:15 豊田合成㈱ 到着、昼食(12:15~13:00)

現場研修 13:00~16:20

I. 会社・工場概要説明

II. テーマのプレゼンテーション

「豊田合成におけるトヨタ生産方式の展開と現場改善」

豊田合成㈱ 生産管理部 生産調査室 主監

中 正司 氏

III. 工場見学(現場研修)

IV. グループディスカッション

V. 発表・質疑応答

まとめ 16:20~16:30

元.トヨタ紡織㈱ 生産調査部 部長 亥子 淳弘 氏

16:45 豊田合成㈱ 出発(貸切バスにて移動) ~ 20:30頃 JR「富山駅」到着・解散

★ 開催要領

対 象 IE初級者、改善担当者、製造、生産管理、生産技術部門の方等

と ころ <座 学> 1日目【2022年7月26日(火) 10:00~17:00】

会 場: 富山県農協会館 8階 801会議室

集 合: 上記会場へ **9:50** までにご集合願います。

〒930-0006 富山県富山市新総曲輪 2-21

【アクセス】 JR「富山駅」下車 徒歩10分

※マイカーでご来場の方は、会場周辺(近隣)の
コインパーキングをご利用ください。

<現場研修> 2日目【2022年7月27日(水) 13:00~16:30】

会 場: **豊田合成(株) 本社・春日工場**

・JR「富山駅」集合の後、貸切バスにて移動します。

(バス代は参加費に含まれます)

・集合8:20、解散20:30を予定しています。

(集合、解散はともに富山駅となります。詳細は、申込後、改めてご案内申し上げます。)

【1日目 座学会場略図】



◆ 持ち物

現場研修(2日目)の際は、**作業帽子と安全靴をお持ちください(工場見学に必要となります)**

※その他、詳細につきましては、参加証にてご案内申し上げます。

◆ 昼食

1日目は会場周辺にて各自お召し上がり下さい。2日目は事務局にてご用意しております。

【ご参加にあたって】

①新型コロナウイルスの感染拡大状況、講師の都合などの事情により、日程・時間・内容並びに開催形態の変更、参加の制限をさせていただく場合がございます。富山県、愛知県に緊急事態宣言が発令されている場合は、開催形態の変更、又は延期とさせていただきます。まん延防止等重点措置が発令されている場合は、受入先と相談の上、開催させていただく場合がございます。

②新型コロナウイルス感染予防対策として、事務局・講師・参加者の体温測定や手指消毒、換気、座席の間隔確保、机の消毒等を実施します。詳細はホームページ(<https://www.cpc.or.jp/ie/>)をご覧ください。

参加費

中部IE協会会員 …… 55,000円 / 一 般 …… 66,000円

(消費税10%込)

※上記参加費は1名につき、資料代、バス代、昼食代(2日目のみ)、消費税(10%)を含みます。

申込方法

①お申込み受付後、参加申込書(裏面) **1** の方宛に請求書及び当日参加証(人数分)をご送付申し上げます。参加証は参加者へお渡しいただき、当日受付へ各自でお持ち下さい。

②参加費は、請求書に記載の期日迄に指定の銀行口座へお振込み願います。振込手数料は、お客様にてご負担下さい。

口座名義: 中部インダストリアル・エンジニアリング協会 振込銀行 口座番号(順不同)

三菱UFJ銀行鶴舞支店	普通 No. 1602917	名古屋銀行上前津支店	当座 No. 3116141
愛知銀行本店営業部	当座 No. 2678	りそな銀行名古屋支店	当座 No. 494070

③7月20日(水)以降の参加キャンセルについては、参加費の返金を致しかねます。

④当日、会場での録音・写真撮影はご遠慮下さい。

⑤申込締切日 **7月12日(火)**…お申込みが遅れる場合は予めご連絡下さい。

⑥受入先の同業に相当する方のご参加をお断りする場合があります。

⑦**定員(30名)となり次第、締め切りとさせていただきます。**

※申込者が10名に満たない場合は、中止とさせていただく可能性がございます。

※ 個人情報の取り扱いについて

1. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。

なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページ(<https://www.cpc.or.jp>)をご参照願います。

参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込みいただきますようお願いいたします。

2. お申込みをいただいた方へは各種セミナーのご案内をお送りする場合がございます。

3. 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。

4. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。 【個人情報に関する問合せ窓口 担当: 齋藤・山口 TEL052-221-1261】

お申込み・問合せ先

中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会

〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 (豊島ビル11階)

TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265

<https://www.cpc.or.jp> 担当: 村田・吉村

2022. 5. 2

FAX. 052-221-1265

年 月 日

中部インダストリアル・エンジニアリング(IE)協会 行

TEL. 052-221-1261

2022年度 現地現物で学ぶ改善力強化セミナー 参加申込書

<フリガナ>

会社名

〒 -

住所

TEL () - FAX () -

1	所属部署 役職名		氏名	フリガナ
	E-mail			
2	所属部署 役職名		氏名	フリガナ
	E-mail			
3	所属部署 役職名		氏名	フリガナ
	E-mail			
4	所属部署 役職名		氏名	フリガナ
	E-mail			

●中部IE協会 ホームページからも

お申込みいただけます！

中部IE協会 

請求書 **要** 申込み後の受取請求書にて振込み

請求書 **不要** 指定口座へ直接振込み

[振込み予定日をご記入下さい 月 日()]

※上記いずれかに☑をおつけ下さい。

※請求書は上記 **1** の方宛に送付させていただきます。

(55,000円・66,000円) [消費税10%含む] × 名 = 円

(事務局記入) 請求 / No.202220